

総務文教委員会

所管事務調査

- 多文化共生施策や国際交流事業について
- 女性委員の割合と女性職員の就業状況について
- 富士宮市の公共交通の確保について

【松永孝男委員長のコメント】

多文化共生施策や国際交流事業については、外国人相談の主な内容や対応、外国人児童・生徒への日本語支援、姉妹都市・友好提携都市との交流事業内容等。

富士宮市における女性委員の割合と女性職員の就業状況については、女性委員数の現状と30%の目標を達成するための取り組み、市内公的機関の女性職員や管理職の割合等。

富士宮市の公共交通確保については、宮タクの現状とライドシェア^{*}に対する市の考え等。

以上の3議題について当局から説明を受けました。人口減少と少子高齢化が進む一方、国際化の波により外国人とのかかわりが増える中で、富士宮市の喫緊の課題として検討していきます。

^{*}自動車の運転者とそれに相乗りする人、または相乗りする人同士を引き合わせるサービス

環境厚生委員会

所管事務調査

- 富士宮市が目指す地域循環共生圏について
- 富士宮市立病院の事業報告について

【中村憲一委員長のコメント】

政策課題である地域循環共生圏について調査を行いました。環境で地方を元気にする地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業として、“富士山と水”を活動テーマに、“富士宮市地域循環共生圏推進協議会”を中心に地域の課題を共有し、環境ビジネスの創出を支援するプラットフォームを構築していくとのことです。本事業が実効性のある活動となるよう調査を継続します。

また、市立病院の事業報告については、平成30年度単年で11億2000万円余の純損失が発生しました。年度中途でも事業状況を共有する必要があることから調査を行い、令和元年4～7月期で医業損失は1億2700万円、前年同期比で3000万円の損失幅拡大とのことでした。医業収益確保対策、未収金対策等収益の確保に取り組んでいるとの報告を受けましたが、事業継続のための短期借入、基準外繰り入れの状況を注視していきます。

産業都市委員会

所管事務調査

- 富士地域DMO^{*}設置検討の現状と展望について
- 滞在型観光について

【植松健一委員長のコメント】

富士地域DMOについては、富士市との観光における連携体制の構築であり、現時点での状況について当局より報告を受けました。

滞在型観光については、本委員会における今期の政策課題であり、今委員会でこれから調査・研究を進めていく方向性について話し合い決定しました。来年度末に当局に対して良い提言ができるよう進めていきたいと思っております。

^{*}観光地域づくり法人。(D…Destination(観光地)、M…Management/Marketing(調整、市場、調査)、O…Organization(組織))